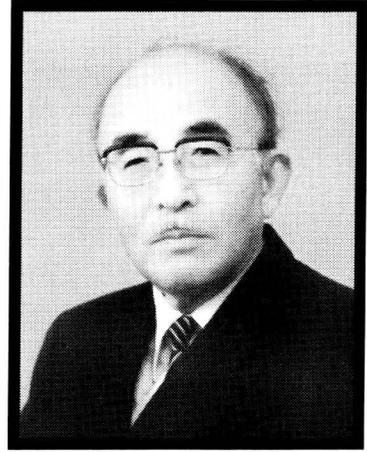


宮崎又治氏を悼む

海洋化学研究所監事 宮崎又治氏には平成11年1月29日急逝されました。新春早々比較のお元気で京大病院に入院され、ほんの数日の御療養中のことでありましたから、まことに残念でなりません。深く哀悼の意をささげる次第であります。

海洋化学研究所は創設以来四半世紀は京大理学部に負うておりましたが、昭和55年9月に文部省の懇諭に伴って今日のような独立した体制に改組されました。その改革に際して、当時京都大学経済学部事務長であった宮崎氏に研究所監事を委嘱し、諸法規に関する御指導をお願いしました。爾



来20年に亘って研究所の総務、人事、経理のすべての面において事務処理を頂いて今日に到っております。研究所が発展の一途をたどり、今日の隆盛を得ている、その多くを同氏の冷静、適切そして温情ある御判断に負っている、と申しても過言ではありません。

師走もおしつまった頃、愛用の三輪スクーターで岩倉の拙宅をお訪ね下さったばかりでありましたのに、もはやその御温顔に接することができなくなりました。まことに悲しい限りであります。研究所を挙げて、今はただ御生前の御功績に感謝し心から御冥福を祈念申し上げる次第であります。合掌。

(藤永太一郎)

御略歴

大正8年6月21日生

府立京都第三中学、立命館大学予科を経て、

昭和18年9月 立命館大学法文学部法律科卒業、京都大学事務官に就任
京都大学本部教務掛長のあと、輔導部、学生部、本部庶務課、結核研究所、医学部、教養部、庶務部庶務課、同広報調査課の掛長、課長補佐、木材研究所事務長を経て、

昭和51年4月 京都大学経済学部事務長

昭和56年4月 同上定年退官

昭和56年6月 (財)京大創立70周年事業会記念後援会主事

なお、昭和55年9月より (財)海洋化学研究所監事 (非常勤)